

学校だより

令和6年3月5日発行

雨水の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日ごろは、本校教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

金曜日は、生徒会が企画した「3年生を送る会」が開催されました。1・2年生からの心のこもったプレゼントに、3年生もこれまでの歩みを思い出しながら、心温まる時間を過ごすことができました。明日の卒業式も、きっとすばらしい式になると期待しています。



学校重点目標「伝えよう 深めよう」～ICTを効果的に活用した生徒中心の学び～について

本年度、若葉中学校では「生徒中心の学び」となるよう、三つの柱の「指導の個別化」、「学習の個性化」、「多様な他者との学び合い」を重視した学校教育に取り組みました。以下は三つの柱に関する生徒アンケートの結果です。

○ 「指導の個別化」に関するアンケート項目

項目「授業では、生徒自身のペースで学習する時間がある。」…「思う・やや思う」88%

項目「教職員は授業の分からない生徒に丁寧に教えている。」…「思う・やや思う」93%

○ 「学習の個性化」に関するアンケート項目

項目「自分は目標を決めて計画的に学習に取り組んでいる。」…「思う・やや思う」75%

項目「自分は将来の夢や目標に向かって、勉強や部活動に取り組んでいる。」…「思う・やや思う」72%

○ 「多様な他者との学び合い」に関するアンケート項目

項目「授業では、皆で協力して作成・編集したり、異なる意見を出し合ったりまとめる時間がある。」

…「思う・やや思う」96%

項目「学校行事では、仲間と協力しながら意欲的に取り組んでいる。」…「思う・やや思う」94%

上のアンケート結果を見ると、項目ごとに結果のばらつきはありますが、重点目標の「主体的に他者へ伝える、学びを深める活動」は、「おおむね満足できる」状況であると考えます。

本年度末、若葉中学区の幼稚園、小学校、中学校は、共通テーマ「夢に向かって自分らしく学ぶ」を定めました。「子どもの夢」の支援や環境づくりをするとともに、教師は「子どもが有能な学び手」であることを理解し、子どもの学びに伴走できるように取り組んでいきます。

学校関係者評価委員会(年間3回開催)では、次のようなご意見をいただきました

9月の公開授業後の第2回では、「昔の時代と異なり、先生と生徒の距離を近く感じました。」「今日の授業スタイルを見て、嫌いな教科も好きになれたかもしれないと思いました。」などのご意見を頂きました。

2月の第3回では、「一人一人の学びの進捗度に合わせた支援が行われています。」「ドリームマップ^{※1}や職場体験学習は、子どもの社会性を養うことができると思います。」「パソコンやタブレットの社会的必要性が高まっており、これらとうまく関わるのが大事でだと思います。」「地域の公園や運動場など、子どもが全力で走ったりボールを投げたりして遊ぶ場所が少なく、子どもの運動能力の低下が気になります。」

「スクールカウンセラーに話を聞いていただき感謝しています。」

「時代とともに、子ども同士の気持ちのやり取りが希薄になるようで、大人になった際の経験不足が心配である。」

などのご意見を頂きました。 ※1ドリームマップ[®] QRコード



技術・家庭科 表計算ソフトでカレンダーづくり



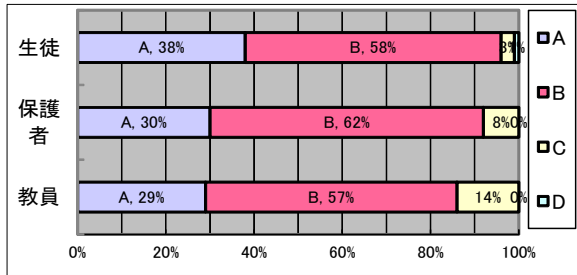
総合的な学習の時間 ドリームマップの発表

(裏面にアンケート結果をまとめました)

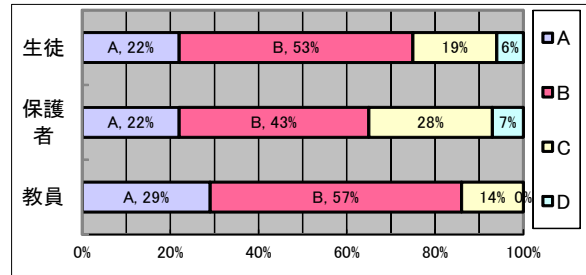
R5 学校教育に関するアンケート

A. とても思う B. やや思う C. あまり思わない D. まったく思わない

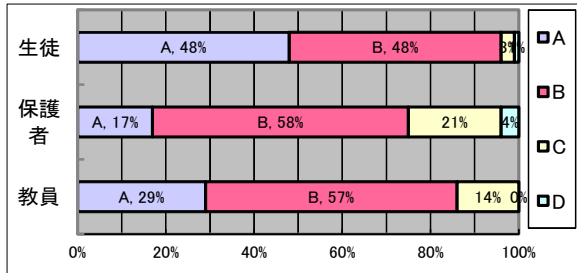
1 授業では、皆で協力して作成・編集したり、異なる意見を出し合ったりまとめる時間がある。



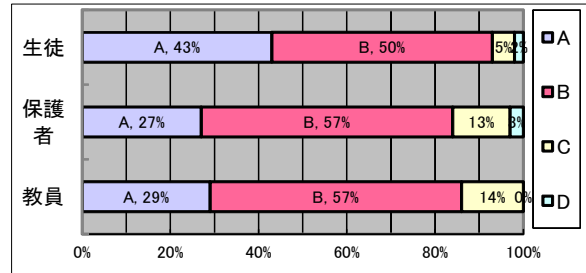
2 生徒は目標を決めて計画的に学習に取り組んでいる。



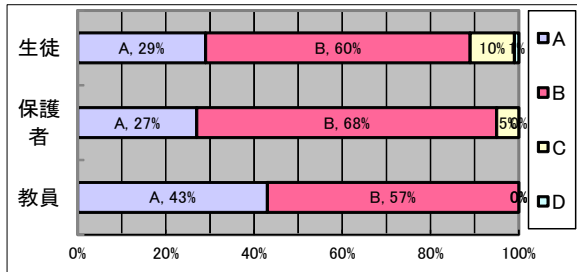
3 教職員は一人一人の気持ちを理解しようと努力している。



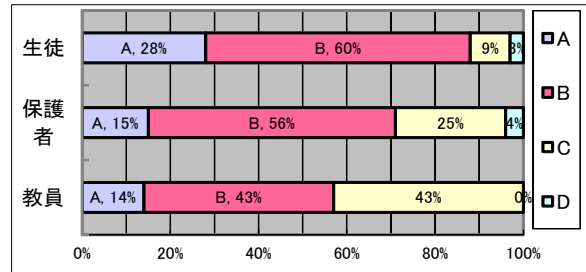
4 教職員は授業で分からない生徒に丁寧に教えている。



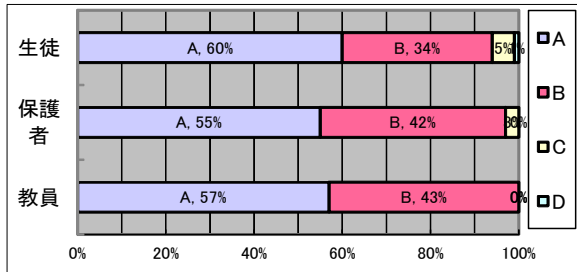
5 生徒(教職員)は校舎や教室の環境美化に努めている。



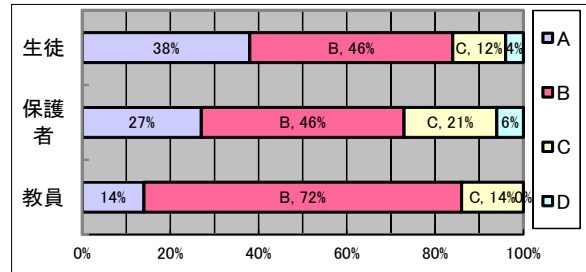
6 授業では、生徒自身のペースで学習する時間がある。



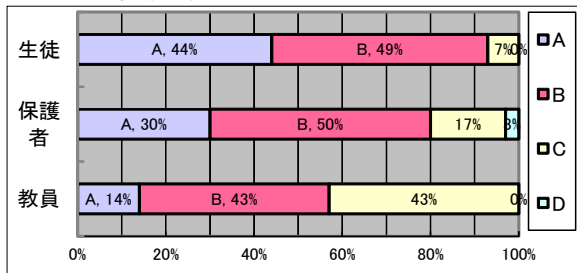
7 生徒は学校行事などにおいて、仲間と協力しながら意欲的に取り組んでいる。



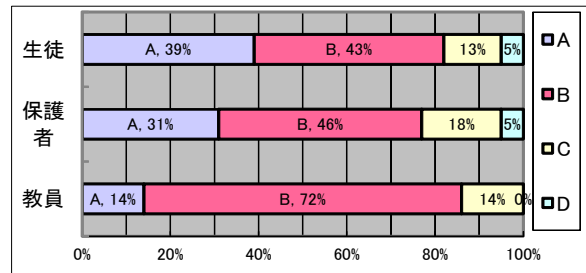
8 生徒は定期テスト・小テストや次の授業に向けて、家庭で学習に取り組んでいる。



9 生徒は地域や学校で元気よく挨拶したり、感謝の気持ちを言葉で表したりしている。



10 生徒は将来の夢や目標に向かって、勉強や部活動などに取り組んでいる。



生徒・保護者・教職員のアンケート(12月実施)の結果から

令和5年度のアンケート結果より

過去3年分の結果の平均と比較し、顕著な変化がみられる項目を示し、今後の方向性を記述しました。
 項目3「教職員は一人一人の気持ちを理解しようと努力している。」……「思う」の平均比 +5%
 項目5「生徒は校舎や教室の環境美化に努めている。」……「思う」の平均比 +9%
 項目7「生徒は学校行事などにおいて、仲間と協力しながら意欲的に取り組んでいる。」……「思う」の平均比 +5%
 項目9「生徒は地域や学校で元気よく挨拶したり、感謝の気持ちを言葉で表したりしている。」…「思う」の平均比 +6%
 コロナ禍の過去3年間に比べ、他者と関わる時間が増えました。その結果、本校の生徒は、「学校や友達、地域との関わりを大切にする傾向」がアンケート結果に反映されました。
 次年度も若葉中学校は、生徒の主体性を育むとともに、アンケート結果や学校関係者評価委員会のご意見を基に、学校教育のさらなる充実や改善を図っていきたいと考えています。